科目名	地理総合			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	高校生の地理総合（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）		
履修の条件							
先生からのアドバイス	皆さんは、新聞やテレビ、インターネットを通じて、さまざまな国の情報を知ることができます。その情報量は膨大で、ときには混乱してしまうこともあります。地理総合の授業では、地理的な語句や考え方を理解し、世界の国々や地域について主体的に学ぶ力を身につけていきます。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に入れて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。
評価方法	学習状況の観察	ー	ー	◎
	プリント	○	○	◎
	提出物	△	△	△
	定期考査・小テスト	◎	◎	ー

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	1 地図や地理情報システムと現代社会	・地球儀やさまざまな図法の地図から現代社会の姿を読みとり、地理情報システムの役割を理解している。 ・世界の国々の結び付き方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。 ・自然環境や社会環境を背景に、生活文化の相互関係を見出すための、地理的見方・考え方を身に着けている。	・地図の特徴、地理情報システムのりようについて、多面的多角的に考察し、表現している。 ・国家の領域、領土問題、交通、通信、人の移動について、地図を通して多面的多角的に考察し表現している。 ・地形、気候、産業の発展歴史など生活文化の多様性はどのように形成されたか多面的・多角的に考察し表現している。	・目的に応じた地図や地理情報システムの利活用について、主体的に追究し、課題を見出している。 ・国家の領域、領土問題、交通、通信、人の移動について、地図を通して主体的に追究し、課題を見出している。 ・多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見出している。
	5	2 結び付きを深める現代世界			
		定期考査 ①			
	6	2 結び付きを深める現代世界			
	7	3 生活文化の多様性と国際理解			
		定期考査 ②			
	9	3 生活文化の多様性と国際理解			
後期	10	4 地球的課題と国際協力	・地理的課題が生じている場所や要因、課題同士が相互に関係しあっていることを理解している。 ・自然災害が生じる場所と要因、自然災害の特徴、防災・減災への取り組みを理解している。 ・生活圏の調査にあたって、仮説の立て方、検証方法、発表の仕方を理解し、その技能を身につけている。	・地理的課題の解決のための取り組みについて、多面的多角的に考察し表現している。 ・自然災害が生じる場所と要因、自然災害の特徴、防災・減災への取り組みについて、多面的多角的に考察し表現している。 ・事前調査の結果から、仮説、分析、整理、比較し、どのようなことがいえるか、多面的多角的に考察し表現している。	・持続可能な開発を実現するための取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見出している。 ・自然環境には災害と恩恵の両面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災の備えについて、主体的に追究し、課題を見出している。 ・調査結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見出している。
		定期考査 ③			
	11	4 地球的課題と国際協力			
	12	5 自然環境と防災			
	1	5 自然環境と防災			
		定期考査 ④			
	2	6 生活圏の調査と地域の展望			
	3	6 生活圏の調査と地域の展望			

科目名	地理探究			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		新詳地理探究（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）	
履修の条件	「地理総合」を履修済みであること。						
先生からのアドバイス	皆さんが生きる21世紀、世界はさらに結びつきを強め、皆さんが世界と関わる機会も増えるでしょう。地理を学ぶことは、自分自身と世界とのつながりを理解し、視野を広げることにつながります。地理探究では、地理総合の基礎の上にさらに学びを深め、考える力・生き抜く力を高めていきます。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。
評価方法	学習状況の観察	ー	ー	◎
	プリント	○	○	◎
	提出物	△	△	◎
	定期考査・小テスト	◎	◎	ー

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	1 自然環境 地形 気候	・自然環境、資源と産業、交通と通信、観光と貿易、人口、都市と村落、生活文化、民族と宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題や社会問題などの現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	・自然環境、資源と産業、交通·通信、観光·貿易、人口、都市·村落、生活文化、民族·宗教などに関わる諸事象について、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的·多角的に考察し、表現している。	・自然環境、資源と産業、交通·通信、観光·貿易、人口、都市·村落、生活文化、民族·宗教などについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	5	地球環境問題 2 資源と産業 農業			
	6	定期考査 ①			
		食料問題 資源・エネルギー問題			
	7	工業 第3次産業			
	9	定期考査 ②			
		3 交通・通信と 観光・貿易			
後期	10	4 人口、人口問題 村落・都市、都市問題 5 生活文化 民族·宗教	・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。	・現代世界の諸地域について、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像について主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的·多角的に探究し、表現している。	・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。
		定期考査 ③			
	11	6 現代世界の諸地域 中国・韓国			
	12	ASEAN諸国・インド 西アジアと中央アジア			
	1	北アフリカと中南アフリカ EU諸国・ロシア			
		定期考査 ④			
	2	アメリカ合衆国 ラテンアメリカ オセアニア			
	3	7 持続可能な 国土像の探究			

科目名	歴史総合			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		明解　歴史総合（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）	
履修の条件							
先生からのアドバイス	江戸時代末期、ペリーの来航から現代にかけての歴史を中心に学習します。現代の日本は過去の歴史の積み重ねの上に成り立っています。歴史を学ぶことは自分自身の成り立ちを学ぶことでもあります。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	歴史的事象から課題を見いだし、世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 .C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。
評価方法　学習状況の観察	○	○	◎
評価方法　提出物	○	○	◎
評価方法　定期考査	◎	○	○
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	江戸時代の日本と結びつく世界	・近世前半までを基本的、骨格的な項目に基づいて概観し、理解する。 ・資料集、地図帳、年表などを活用して学ぶことができる。 ・様々なメディアから資料を収集し、有用な情報を主体的に活用できる。	・欧米文化の影響を受けながら、近代国家として成立し発展していった過程を考察する。 ・政治、経済、社会、文化などの特色やその推移を考察する。	・近世前半以前について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。 ・16世紀以降の世界の一体化の過程に関心をいだき、積極的に授業に参加できる。 ・近代日本について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。
	5	国民国家の形成 日本の近代化			
		定期考査　①			
	6	第一次世界大戦			
	7	第二次世界大戦と日本			
		定期考査　②			
	9	第一次世界大戦			
後期	10	再出発する世界と日本	・地球規模で一体化した現代世界の特質と展開過程を理解できる。 ・2つの世界大戦に至る我が国の内政・外政及び、世界各国の内政・外政を理解する。 ・今日に至った過程について、世界の動向との関連に留意して理解する。	・世界の動向と日本のかかわりに着目し人類の課題について考察できる。 ・２つの世界大戦を通して、国民生活や国民意識がどのように変化したか考察する。 ・戦後の民主化と復興、国際社会への復帰、経済の発展と現代の日本について、世界の動向と関連付けて考察させるとともに、我が国の課題と役割について認識する。	・現代世界における、人類の課題に関心をもち、積極的に授業に参加できる。 ・第二次世界大戦後の我が国について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。
		定期考査　③			
	11	冷戦で揺れる世界と日本			
	12	冷戦で揺れる世界と日本			
	1	多極化する世界			
		定期考査　④			
	2	グローバル化のなかの世界と日本			
	3	グローバル化のなかの世界と日本			

科目名	歴史総合		単位数	3	履修区分	必履修
対象の部		夜間部	使用教科書 教材		明解　歴史総合（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）	
履修の条件						
先生からのアドバイス	江戸時代末期、ペリーの来航から現代にかけての歴史を中心に学習します。現代の日本は過去の歴史の積み重ねの上に成り立っています。歴史を学ぶことは自分自身の成り立ちを学ぶことでもあります。					

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	歴史的事象から課題を見いだし、世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 .C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。
評価方法　学習状況の観察	○	○	◎
評価方法　提出物	○	○	◎
評価方法　定期考査	◎	○	○
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	江戸時代の日本と結びつく世界	・近世前半までを基本的、骨格的な項目に基づいて概観し、理解する。 ・資料集、地図帳、年表などを活用して学ぶことができる。 ・様々なメディアから資料を収集し、有用な情報を主体的に活用できる。	・欧米文化の影響を受けながら、近代国家として成立し発展していった過程を考察する。 ・政治、経済、社会、文化などの特色やその推移を考察する。	・近世前半以前について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。 ・16世紀以降の世界の一体化の過程に関心をいだき、積極的に授業に参加できる。 ・近代日本について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。
	5	国民国家の形成 日本の近代化			
		定期考査　①			
	6	第一次世界大戦			
	7	第二次世界大戦と日本			
		定期考査　②			
	9	第一次世界大戦			
後期	10	再出発する世界と日本	・地球規模で一体化した現代世界の特質と展開過程を理解できる。 ・2つの世界大戦に至る我が国の内政・外政及び、世界各国の内政・外政を理解する。 ・今日に至った過程について、世界の動向との関連に留意して理解する。	・世界の動向と日本のかかわりに着目し人類の課題について考察できる。 ・２つの世界大戦を通して、国民生活や国民意識がどのように変化したか考察する。 ・戦後の民主化と復興、国際社会への復帰、経済の発展と現代の日本について、世界の動向と関連付けて考察させるとともに、我が国の課題と役割について認識する。	・現代世界における、人類の課題に関心をもち、積極的に授業に参加できる。 ・第二次世界大戦後の我が国について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。
		定期考査　③			
	11	冷戦で揺れる世界と日本			
	12	冷戦で揺れる世界と日本			
	1	多極化する世界			
		定期考査　④			
	2	グローバル化のなかの世界と日本			
	3	グローバル化のなかの世界と日本			

科目名	日本史探究			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	精選日本史探究　新訂版 今につなぐ　未来をえがく （実教出版）		
履修の条件	「歴史総合」を履修済みであること。						
先生からのアドバイス	日本史探究では、世界史のとの関連を踏まえながら古代から現代までの日本の歴史の歩みを総合的に学習します。歴史をイメージできるよう映像等の教材もふんだんに取り入れていきます。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活　文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	歴史的、地理的事象から課題を見いだし、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	歴史的　地理的事象に対し、意欲的に追求し、国際社会に日本国民としての責任を果たそうとする。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。
評価方法	学習状況の観察	◎	◎	◎
	提出物	○	○	○
	ノート　プリント	○	○	○
	定期考査	◎	◎	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	1 原始・古代の日本と東アジア 国家と文化の形成	・日本の原始　古代の社会と文化について、東アジア世界の動向とも関連付けて理解している。 ・武家政権の成立から展開について、世界史的視野に立って理解している。 ・資料集、地図帳、年表等を活用して学ぶことが出来る。	・東アジアからもたらされた制度や文物が大きく影響していることに留意し、日本の原始、古代の国家　社会、文化の形成について総合的に考察している。 ・武士が政治力をつけていく過程を国内諸地域の地理的条件とも関連付けて考察している。 ・ヨーロッパ世界との接触とその影響、鎖国などの対外関係について多面的に考察している。	・「原始古代の日本」「武家政権の成立から展開」等について、興味や関心を持ち意欲的に学ぼうとしている。
	5	古代国家の確立			
		定期考査　①			
	6	2 中世の日本と世界 中世社会の成立			
	7	中世の社会の発展			
		定期考査　②			
	9	3 近世の日本と世界 統一政権の成立 幕藩体制の展開			
後期	10	4 近現代の地域・日本と世界	・開国後の日本がどのように近代化を進めたのかを理解している。 ・第二次世界大戦に突き進んだ日本の、国内の動向や世界情勢を理解している。 ・戦後の日本の復興や現代に繋がる問題について理解している。 ・インターネットや映像資料等から有用な情報を活用している。	・開国後の近代日本の歩みを当時の国際環境と関連付けて考察し表現している。 ・軍国主義化していく日本の動向と世界情勢について多角的、多面的に考察し表現している。 ・戦後の民主化と復興、経済の発展と現代の日本の諸課題について考察し表現している。	・「ペリー来航から明治時代」「満州事変から第二次世界大戦への日本の動向」「戦後から現在に至る戦後史」等について興味や関心を持ち意欲的に学ぼうとしている。
		定期考査　③			
	11	大日本帝国の形成			
	12	大日本帝国とデモクラシー			
	1	アジアの戦争と第二次世界大戦			
		定期考査　④			
	2	現代の日本社会の形成と展開			
	3				

科目名	世界史探究			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	高等学校　世界史探究 （第一学習社）		
履修の条件	「歴史総合」を履修済みであること。						
先生からのアドバイス	「失敗から成功のヒントを得る」。これは歴史学習でも同じことが言えます。実は世界史には、世界中の人類が獲得してきた英知や経験がぎっしりとつまっています。現代と異なる過去の世界を学ぶことで、生きるヒントを得られるでしょう。世界史探究では、古代から現代までを広く学習していきます。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。
評価方法　学習状況の観察	ー	ー	◎
評価方法　プリント	△	△	◎
評価方法　提出物	△	△	◎
評価方法　定期考査・小テスト	◎	◎	ー

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	1 世界史へのまなざし 2 諸地域の歴史的特質の形成	・人類の歴史と地球環境との関わりを理解している。 ・人類の歴史と地球環境との関わり、古代文明の歴史的特質、諸地域の歴史的特質などを理解している。 ・結びつくユーラシアと諸地域、アジア諸地域とヨーロッパの再編などを構造的に理解している。 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。	・人類の歴史と地球環境との関わり、古代文明の歴史的特質、諸地域の歴史的特質、結びつくユーラシアと諸地域、アジア諸地域とヨーロッパの再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、多面的·多角的に考察し、表現している。	・世界史へのまなざし、諸地域の歴史的特質の形成、諸地域の交流·再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
	5	古代文明 西アジアと地中海 定期考査　①			
	6	秦、漢と遊牧国家 キリスト教とイスラーム			
	7	3 諸地域の交流·再編 結びつくユーラシア 定期考査　②			
	9	アジアの諸地域 ヨーロッパの再編			
後期	10	4 諸地域の結合·変容 世界市場の形成 諸地域の結合 定期考査　③	・世界市場の形成と諸地域の結合、帝国主義とナショナリズムの高揚、第二次世界大戦と諸地域の変容などを構造的に理解している。 ・冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭、国際秩序の変容と経済のグローバル化、科学技術の高度化などを基に、紛争解決・格差是正の取組と課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。 ・歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を理解している。 ・資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。	・世界市場の形成と諸地域の結合、帝国主義とナショナリズムの高揚、第二次世界大戦と諸地域の変容、冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭、国際秩序の変容と経済のグローバル化、知識基盤社会、地球世界の課題に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、多面的·多角的に考察し、表現している。	・諸地域の結合·変容、地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
	11	帝国主義			
	12	ナショナリズム			
	1	第二次世界大戦 諸地域の変容 定期考査　④			
	2	5 地球世界の課題 冷戦 脱植民地化と第三世界			
	3	経済のグローバル化 科学技術の高度化 知識基盤社会			

科目名	公共			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	高等学校　新公共 （第一学習社）		
履修の条件							
先生からのアドバイス	「公共」は、社会の仕組みや現実社会の課題を理解するだけでなく、多様な価値観をもつ人々と対話しながら、自ら考え、判断し、行動する力を身に付ける科目です。身近な問題から国際社会まで幅広く学び、主権者としてよりよい社会の実現に主体的に関わる姿勢を育てます。学んだ内容を自分自身の生き方や将来と結び付けながら学習を進めましょう。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。
評価方法　学習状況の観察	ー	ー	◎
評価方法　プリント	△	△	◎
評価方法　提出物	△	△	◎
評価方法　定期考査・小テスト	◎	◎	ー

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	1　自立した主体	・自らの体験や対話を通して自己を見つめ、人間としての在り方生き方を理解するとともに、他者を尊重し、多様な価値観を認め合う姿勢を身に付けている。 ・公共的な空間における基本原理や、幸福や公正を重視する考え方を理解し、自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することの意義を理解している。 ・資料を活用して情報を収集、整理する技能を身に付けている。	・社会に参画する自立した主体、人間としての在り方生き方、個人と社会との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方、公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	5	2　人間としての在り方生き方			
		定期考査　①			
	6	3　公共的な空間における基本的原理			
	7	4　法			
		定期考査　②			
	9	5　政治 6　安全保障			
後期	10	7　国際政治	・法・政治・経済に関する現実社会の課題を基に、法や規範による紛争解決や権利保障、政治参加や合意形成の意義、市場経済と政府の役割などについて理解している。また、消費者、労働、社会保障、財政、国際社会など幅広い課題を通して、民主的で公正な社会や持続可能な経済の在り方を理解するとともに、必要な情報を収集・整理・活用する技能を身に付けている。 ・資料を活用して情報を収集、整理する技能を身に付けている。	・法、政治、経済などの事項について、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・地域の創造、よりよい国家、社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成に向けて、論拠を基に自分の考えを説明・論述している。	・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・持続可能な社会について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
		定期考査　③			
	11	8　雇用と労働、職業観 9　市場経済			
	12	10　金融			
	1	11　財政			
		定期考査　④			
	2	12 経済のグローバル化			
	3	1　持続可能な社会づくり			

科目名	政治・経済			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	最新　政治・経済　新訂版 （実教出版）		
履修の条件	「公共」を履修済みであること。						
先生からのアドバイス	公共を基盤として、政治・経済を深く専門的に学習します。現代の政治・経済の仕組みや、国際情勢などをより詳しく学んでいきます。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	現代日本の政治・経済について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。
評価方法　学習状況の観察	△	△	◎
評価方法　プリント	△	△	◎
評価方法　提出物	△	△	○
評価方法　定期考査	◎	◎	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	現代国家と民主政治	・現代の日本の政治及び国際政治の動向に関する知識を持ち、その背景や相互の関係を理解している。グラフ、表などの統計資料や地図などを活用して学ぶことができる。様々なメデイアから資料を収集し、有用な情報を主体的に活用できる。	・現代における日本の政治及び国際政治の動向とその諸課題について公正な判断力を養っている。	・現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、民主政治の本質について探究している。
	5	日本国憲法			
		定期考査①			
	6	日本の政治制度と選挙			
		定期考査②			
	7	現代の国際政治①			
	9	現代の国際政治②			
後期	10	経済社会の変容	・現代の日本経済及び国際経済の動向に関する知識を持ち、その背景や相互の関係を理解している。現代社会の諸課題に関する知識を持ち、その背景や相互の関係を理解している。	・現代における日本経済及び国際経済の動向とその諸課題について公正な判断力を養っている。	・私たちの生活と政治や国家のかかわりについて意欲的に追究しようとしている。 ・現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、客観的に考えようとする態度を身に付けている。
		定期考査③			
	11	現代経済のしくみ			
	12	現代の日本経済			
	1				
		定期考査④			
	2	現代社会の諸課題（経済）			
	3	現代社会の諸課題（政治）			